

第11回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会（摘録）

【日時】 平成25年3月1日（金） 15:00～16:45

【場所】 302号会議室

【出席者】 検討委員会委員 19人（欠席1人）
教育委員会事務局 4人

【傍聴者】 2人

【取材】 1人

【次第】 司会：学校再編推進室主査

1 開会

2 議題

（1）第10回大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会の摘録について

修正等はなく了承。

（※ 情報公開センター及び市ホームページでの公表資料とする。）

（2）配付資料の説明

発言者	発言内容
委員長	前回の会議では3つ修正案を検討しました。本日修正案④を出して中間報告と比較し検討することにしていました。事務局で修正案④を準備されていますので、説明をお願いします。
事務局	（資料2）の中間報告の修正案④、（資料3）のパブリックコメント実施概要を説明。 （資料2）中間報告の修正案④ ・右京・船津・延命中再編校に大正小を入れることで、市内で1番規模の大きな中学校になる。（中間報告の12学級400人台から17学級600人台になる）。白光中は大正小が抜けることで、中間報告の17学級600人台から12学級400人台になり、中間報告の白光中と右京中の学級規模が入れ替わる形になる。 ・課題として、右京・船津・延命中再編校は第二次実施計画で平成27年4月に再編のため、現在平成25年度からの学校再編協議会の設置に向けて準備が進められている。3中学校では小学校の再編が行われたり、延命中校区では上官・大牟田小の再編が予定されており、保護者からは再編は1回にして欲しいと説明会等での意見があっている。大正が入る場合には編入に対する保護者の理解が課題になるのではないかと。 ・右京・船津・延命中の再編に併せて体育館の建て替えや校舎の改修を実施するが、大正の規模が大きいため、再度施設の増築が必要となる。 （資料3）のパブリックコメント実施概要 ・パブリックコメントについて、中学校の再編の枠組みごとに整理をした資料を示しており、検討委員会として回答していく必要がある。

(3) 中間報告に対する意見につて、検討委員会の考え方の整理

発言者	発言内容
委員長	<p>修正案④を説明していただきましたが、大正小学校を右京にする場合は17学級で、白光是12学級になり、右京中の施設設備が現状では無理だということです。船津と右京と延命の再編校は平成27年4月開校です。白光を同じ27年4月に開校できるならば、大正を右京にしてもうまくいくかもしれませんが、再編時期が少しずれる場合、右京再編校が開校するときに大正を移すと、松原中学校は白光の再編までの数年間中友小学校だけになるという問題があります。</p> <p>また、白川小学校と平原小学校を再編して歴木中学校にした場合に、線路の西側の下白川町1丁目を明治小学校に、それから国道から西側をどうするかということがあり、手鎌小学校区では橘中学校に近い子ども達の学校をどうするかということがあります。これらの一部通学区域の見直しは、通学区域審議会で検討されるということでした。</p> <p>それから、市民の方からいただいたパブリックコメントに対し、最終的には検討委員会で回答を出すようになっていきます。今日の会議からは、最終答申と、パブリックコメントに対する回答の2つが大きな論点になると思います。</p> <p>まず、修正案④に質問等がありましたら出してください。</p>
委員	<p>修正案の④では、大正小学校が右京に入ること、校舎の再度の増築が必要ということになっています。大正校区でも今土地開発が大分進んできているような感じがしますので、それを考えると、もっと右京の校舎を増築する可能性があるのかどうか、その辺はどうでしょうか。</p>
事務局	<p>数日前の新聞記事では、イオンの近くの小川町辺りの開発がされているようです。戸建て200世帯ほど、賃貸でも200戸ほどが整備されるということです。イオンや駅にも近いということで、若い20代から30代の世代に人気があるという記事が載っていました。記事に掲載された場所の校区は、天領小校区、右京中校区になります。小川開のアパートが解体されて、一戸建て住宅がかなり建っている状況です。</p>
委員長	<p>前回の会議で、大正小学校区では将来人口が増えるだろうということでした。例えばイオンや大学誘致があり、小川開の跡に戸建住宅やアパートなどが出来て最大400世帯となるとマスコミで報道されています。子どもがいる若い世帯に人気があるということです。そうすると、右京中学校に大正を入れるときに、校舎を増築して足りるかどうかということですね。資料には右京・船津・延命を再編した後に、大正小学校編入の理解と校舎の増築が必要と書いてあります。他にご質問はございませんか。</p>
全委員	<p>質問なし。</p>
委員長	<p>大正小学校区の方は説明会等では、ぜひ学校に近い右京に行かせて欲しいという要望が強かったですね。他の理由もありました。</p> <p>今の事務局説明から言うと、校舎の問題、小川開、イオンなどの問題も含めてどのように対応するかということです。</p> <p>その対応も含めてご意見はございませんか。</p>
全委員	<p>意見なし。</p>

委員長	<p>施設の件で事務局にお尋ねします。17クラスになると、今の右京の施設からはどのような増改築が必要になりますか。</p>
事務局	<p>中間報告の12クラスで、普通教室を3教室ほど造る必要がありました。もしも17クラスになると、実質的には特別支援学級を除き1学年6クラス、3学年分で18クラス必要になりますので、さらに6教室造らなければなりません。</p> <p>また、今の校舎は一部4階になっていますので、中間報告では3階部分に増築して普通教室を増やす予定にしておりました。それをさらに増築するとすると、4階建ての校舎を5階にすることは出来ませんので、現在6教室がある特別教室棟を解体して、そこに普通教室6教室と特別教室も造る必要があり、少し運動場側に校舎がせり出して若干窮屈になると思います。</p>
委員長	<p>今の右京中学校の施設では、普通教室が9教室不足するということですね。それを東側の校舎を壊して改築すると、4階建てにしても運動場が狭くなるという状況です。</p> <p>だから、平成27年4月の右京の開校時には、大正小学校を同時に入れることは無理ということでしょうか。それよりも白光を開校する時点で大正を入れた方が無難だということが資料に書いてあります。白光と右京の開校が同時なら良いですが、右京の開校のときに大正を入れたら、松原は中友だけになりますので、物理的に無理です。だから、小川開のアパートやイオン、大学などを考えて、白光が開校する時点で総合的に精査する必要があるという捉え方で良いでしょうか。</p>
委員	<p>天領小学校区の人口が増える可能性があり、今の右京中の施設では、今でも平成27年4月の開校時には延命中の運動場を活用しなければ足りない状況があります。右京中の敷地は広くないという観点からすると、今後を考えると、白光中を右京中と同時に開校というのはもちろん今の状況ではできない状況だと思います。</p>
委員長	<p>過去の会議の中に、延命中学校を第二グラウンドとして使用するという事は出ていました。施設については出ていませんが、事務局の説明では9学級足りません。右京は昭和38年に1学年8学級あり、今の敷地に24学級くらいあり、何とかなってきました。</p> <p>ところが、サッカーと野球を同じグラウンドでするのは、安全性の問題で無理でしょうね。だから延命を第二グラウンドにする。</p> <p>今おっしゃったのは、右京が駄目だから他の学校にするという見通しを持っておかなければならないということでのご意見ですね。</p>
委員	<p>そうですね。</p>
委員	<p>まちづくりということが大前提です。その中で1番ネックになるのが、船津・右京・延命が第二次実施計画で先に計画されていることです。これは変更できないということを検討委員会で確認して、適正規模・適正配置の検討がスタートしたと思います。検討委員会の中で当初、三池港、沿岸道路があるので、小川開辺りについては絶対人口が増える、また、新幹線の地域は必ず用途地域が変わって10年後には大きく人口が変わるということをお話したと思います。私は30年後、50年後のまちづくりをやって</p>

	<p>いくということでは物事を考える中で、大正校区がもし再編されるなら右京がベターだろうと私は個人的に思っています。それに校舎が足りないというのは別の問題である。再編をすることと校舎が足りないならば違う学校に持っていくという、適正規模・適正配置をしなければならぬと思っています。第二次実施計画では、3つの中学校と大牟田・上官小学校の再編を先にするという事です。このときには大正小学校の話は出ておりませんので、大正小学校が入るならば、修正案④にあるように新しい学校に一度に入るようにするべきだという考えを持っています。</p> <p>どちらにしても、右京が17学級になるか、反対に白光が17学級になるかです。当初の説明では、延命中の運動場は右京中で使う計画だという話があったと思います。右京中学校の校舎とグラウンド、そして延命中学校のグラウンドを使った再編だという認識をしていたつもりです。これを確認しながら、大正小学校は再編後に編入する形で右京中学校に大正小学校が行くという形になるのではないかと思います。</p> <p>これからのまちづくりということで5校にした状況ですので、根底において適正規模・適正配置で取組んでいただきたいと思ひます。</p>
委員長	<p>中間報告では第二次実施計画の右京・船津・延命の3校は触れないけれども、最終答申を出すときには触れましょうということで出してきたものです。</p> <p>そして、12学級でも教室が不足するという施設の問題があるから、大正が入ってきたらまた6教室不足します。だから、今のご意見は、右京・船津・延命が再編した後、精査として大正小学校を右京中学校に編入する方向も含めて、検討委員会では方向性を提言しておきましょうということなんです。そうすると、市民の方のご意見も生かされてくるし、場合によってはその時点で人口の変動が大きい場合はまた考えざるを得ずコンクリートにはできませんが、そういう方向性でいきましょうということで、それにご異論はございませんか。</p>
全委員	意見なし。
委員長	<p>検討委員会の方向性としては、今申し上げたことで方向性を確認したいと思ひます。それと付随した問題として、延命中学校を第二グラウンドに活用することも含めてあるということもご理解ください。</p> <p>それから修正案④の校区図と中間報告の校区図をもう1度見てください。白川と平原の問題です。先程事務局から話がありましたように、中学校は歴木中学校、小学校の再編は白川小学校と検討委員会でも方向が決まっています。白川小学校の地域説明会の中で出てきた意見は、下白川町1丁目と国道から西側をどうするかという問題があります。事務局の説明は、歴木が開校するときに通学区域審議会で一部の地域をどちらにするか決定したらどうだろうかという説明ですが、それではよろしいですか。</p> <p>話の流れから言うと、下白川町1丁目は明治となっていました。それをいつするかという問題もあります。それから、国道から西側もあります。それは白光、歴木が開校するときに地域住民の方々のご意見を聴くということです。住民の意見をその時点で聴こうとした場合に、どういう問題が起きるかということをおし想定してみたいと思ひます。</p>
委員	<p>国道から西という考えの人と、線路から西という2つの考え方があると思ひます。当初検討委員会では線路から西を明治校区ということでしたが、</p>

	<p>ある一方では国道から西を編入して欲しいという意見もあったと思います。中学校を白光に行きたいという人と、歴木で良いという意見があると思います。おそらく国道から西というのは白光を目指す方ではないでしょうか。全体的に考えても、下白川町1丁目、2丁目を分離するということは、必然的に歴木になるので白光に行きたい。だからこの意見としては、白川校区の方はどちらかという和白光に行きたいという意見が大部分ではないかと思ひます。その辺を少し整理して通学区域審議会で考えていただくようにしないと、修正案④では白光は生徒数が少ない状況になってきました。施設は充実しているのに400人台では、保護者の思惑というのは必然的に白光という感覚があると思ひます。平原の人たちはどちらかという和白光に近いので、従来どおり歴木で良いという意見はないでしょうか。下白川町1丁目を核にして白光に行きたいということではないかと思ひます。それをどうするかということで、原案どおり白川・平原の再編校の白川小学校は全体的に歴木として答申を出して、通学区域審議会で白光としないと、けりが付かないのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>検討委員会では、校区の一部をどうするかという権限はないので、通学区域審議会で審議するというこゝです。</p>
委員	<p>そうです。</p>
委員長	<p>方向性としては、検討委員会は、学校は白川と平原を再編して中学校は歴木だということを決め、国道から西側全部、または線路から西側を白光にするということを通学区域審議会で審議し決めていただくということによろしいでしょうか。</p>
委員	<p>白川小学校と平原小学校を白川に持って行くということは、それを分けられないので、白光と歴木のどちらかが大きくなるというのは仕方がない範囲の中でやっています。</p>
委員	<p>どちらかに決めて答申しなければなりません。</p>
委員長	<p>それと同じようなことで、手鎌小学校区の橘中学校に近い所も、地域住民の話を聴いて通学区域審議会で結論を出していただく。学校は、手鎌小学校は白光中学校ということによろしいですか。異論がなければそれで決めたいと思ひます。</p>
全委員	<p>異論なし。</p>
委員長	<p>次に橘中学校の問題は、中間報告と修正案④は同じです。特にここで解決できたのは、銀水小学校区が2つに分かれないということがひとつ大きくあります。もうひとつは、施設設備の問題は、検討委員会で新たに学校を新設するといったことも今まで論議しましたが、具体的に答申に出すことはできません。答申を受けて、子どもたちの教育環境として何がベストなのかということ、他に付随した問題を絡め合わせながら市役所で全庁的に検討していただくということによろしいですか。</p>
全委員	<p>異論なし。</p>

委員長	<p>大体これで中学校5校、小学校は第二次実施計画は別として、今回駛馬北と南で、再編後駛馬北にする。また、中友と明治を明治小学校で開校する、白川と平原は白川小学校で開校する、という小学校の取扱いを協議して来ましたが、それでよいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承。</p>
委員長	<p>それでは、一応方向性も含めて結論としたいと思います。 5分間休憩して、次にパブリックコメントにどのような回答をしていくかを後半で検討したいと思います。</p> <p style="text-align: center;">【5分休憩】</p>
委員長	<p>前半の協議の概要を考えますと、中間報告の地図のようになります。ではパブリックコメントに入りますが、特に市民の方からいただいたコメントには回答する必要があります。説明会で出た意見、市民の方からいただいたコメント、保護者の意見を見ると、いろんな意見がありますので、協議の前に、簡単に意見をまとめて私なりに申し上げます。</p> <p>ひとつは、この検討委員会が検討する内容は、学校再編です。適正な規模・適正な学校配置を基にしてどのように学校を再編するかというのが検討委員会の大きな目的です。ところが出てきた意見を見ますと、例えば手鎌や白川など校区の一部変更等、通学区域審議会で審議する内容があります。</p> <p>それから、各学校で再編に向かって学校再編協議会を設置すると思います。ここでは、例えば通学路の安全性の問題については、協議会で出された要望に対して全庁的に対応されていくと思います。1番大切なことだと思います。</p> <p>それからスクールバスについても検討委員会で論議してきましたが、スクールバスを出す、出さないということも検討委員会で決めるものではありません。協議会で出たら全庁的な対応を所管で考えられるでしょう。</p> <p>跡地は、教育委員会も含め全庁的にどうするかということがあります。ご承知のとおり、三里小学校は施設を民間で活用するようになりました。諏訪小学校は中学校給食センターとして活用されます。</p> <p>それから避難場所の確保も大きな問題です。学校は全て避難場所のためだけにあるわけではありません。しかし学校も避難場所の一部として役割を果たす社会的使命は今後も続くでしょうから、そういうものをどうしていくか。例えば田隈中学校が閉校した後に残る銀水、羽山台や、学校以外に、吉野地区公民館なども避難所です。それから防災があります。浸水だけでなく、がけ崩れ、土石流、地すべりなどもあります。そういうものがハザードマップや土砂災害の警戒区域の指定等で検討してきました。</p> <p>学校名や制服なども学校再編協議会の協議事項です。教育委員会で1番問題なのは、再編の年次計画だと思います。平成27年4月に右京・船津・延命の再編校が開校するということですが、その他の再編する学校をいつどのようにしていくかというスケジュールの問題。これは、スピード感を持って作成していただいて、住民の方々のご理解を得ながら進めていかなければならない大きな問題だと思います。または通学区域をどう変更していくか、これは規則の問題があります。文科省は平成9年に学校の再編に伴って住民の意見を聴いて校区をある程度弾力化するよう通知しています。また、教員の加配の問題も出ました。そして学校が取組む問題は、や</p>

	<p>はり交流教育だと思います。再編する前に交流すれば、スムーズに再編できるという例が全国にたくさんあります。交流しなかったら、再編がうまくいかない例も全国にたくさんあります。将来は、中高一貫教育、または小中一貫教育の問題も出てくるのではないかと思います。それから、自転車通学を学校としてどうしていくかなど、多種多様な意見がありました。事務局からの説明にありましたように、検討委員会から回答しなければならない事項について16ページから示されていますので、検討してみたいと思います。今までに出たご意見も含めて、いろいろなご意見をお出しください。</p> <p>まず、米生・勝立中学校では中学校は米生中学校に再編する。ところが駿馬北と駿馬南の再編で、どうして駿馬北にするのか、駿馬南ではいけないのかという意見があります。検討委員会では、運動場は駿馬北が広いという施設の問題が出たと思います。校地面積も駿馬北が約1万6千㎡に対し、駿馬南は約1万4千㎡。駿馬南の周りは田圃で近くに諏訪川があります。北は住宅地で少し高い所にあります。運動場は駿馬北が広く、駿馬北の方が施設整備をしやすい。津波や洪水等を考えたら、駿馬北が少し高台にあるし良いのではないかと思います。他に回答する内容はありますか。</p>
委員	過去に再編した三川・三里、諏訪・川尻、それから天道・笹原は、歴史的な背景があって分かれたところが再編になっていますが、駿馬南・駿馬北については、歴史的にどのような背景がありますか。
事務局	第2回の検討委員会資料の各学校の沿革にありますように、駿馬北の方が歴史が古く、駿馬南は明治42年に駿馬北の沖田分教場として設立され、明治45年から駿馬南尋常小学校となっています。
委員	質問されている方も、なぜ駿馬北かということを知りたいと思います。例えば諏訪・川尻では、近所の方は歴史背景もあって再編校は川尻だろうとある程度分かっていたので、歴史的背景というの大きな選択肢だろうと思います。しかし、高台、津波などの災害時に南の方は避難場所がないのかというようになりますので、ある程度質問に答えていかなければならないのではないかと思います。どちらが良いかということはどうなにかに計算しても比較は難しいと思いますので、どこかで説明が必要と思い質問しました。右京も、右京から船津が分かれ、延命も分校として出来たという歴史があります。戦後大牟田に住んでいる人は、延命が良いのではないかと聞かれますが、やはり、教育委員会の考え方としては右京だと私は認識しています。
委員長	検討委員会では、検討委員会としての回答を出しますが、事務局にお尋ねします。具体的に例えば駿馬北と駿馬南の再編に入るときに、「再編に入りますからご理解をお願いします。併せて学校再編協議会を作ってください」ということを依頼されますね。そのときに今のようなことを具体的に説明されるのでしょうか。そうしないと、なぜ駿馬北なのか何も説明がないということになりかねません。
事務局	パブリックコメントに対する検討委員会の考え方ということで整理させていただきますが、最終的には教育委員会が各校区での説明会を開催しますので、そのときに説明をすることになります。計画自体に一定のご理解

	がないと、学校再編協議会も設置できないということになりますので、ご理解いただくように努めていくこととしています。
委員長	駿馬北・駿馬南で他にございませんか。
全委員	意見なし。
委員長	<p>今日の話し合いをまとめて、次回の会議でパブリックコメントに回答する内容を協議しましょうか。回答案をご覧になって、答申案と併せて協議しましょう。</p> <p>パブリックコメント以外にもたくさんの意見が出ています。検討委員会はパブリックコメントに回答しますが、その他の意見への回答も知識としても必要ですので、共通認識しながら回答を作っていくことをご理解ください。</p> <p>18ページをご覧ください。白光中学校区・松原中学校区・甘木中学校区です。下白川町1丁目。2番目は下白川町1丁目と明治小学校区と分けることに反対する。3番目は、下白川町1丁目だけを明治小学校にすることに反対する。次のページは下白川町2丁目の問題で、白光中に隣接している問題です。5番目に大正小学校は、再編後は白光中学校に通学することになるということで、飲食店街などの繁華街の問題が書いてあります。</p> <p>ここにご意見はありませんか。なにか良い方法はないでしょうか。</p>
委員	<p>部活をしている生徒を見ていると、結構真っ暗な状況の中を帰宅しています。暗い所を帰るよりも、繁華街の明るい所を帰る方が安全だと思います。街の誘惑に負けるということを考えて別ですが、部活後の帰宅については、やはり明るい方が良いと思います。</p> <p>今は町内公民館の管理者も減って、街灯も維持できないという状況も出ていますので、街中でも暗くなってきている状況があるのではないかと思います。</p>
委員	松原中学校が再編されて白光中学校に行く時期に、大正小学校が右京に入るの是一緒ですね。そうすると、松原中学校を再編するときに、中友小学校も明治小学校に再編することになると、大正小学校の子どもは右京中に入るの、このような問題は存在しないのではないかと認識しています。
委員	この質問はそうではないですね。まだ白光に通うことを前提にしたものです。
委員	もうひとつの可能性として、大正は右京という可能性もあるのでしょうか。
委員長	この地域に限定せずに、他の校区を見ても同じ状況の所もあるかもしれませんね。どうでしょうか。例えば、中友小学校の子どもは白光中に行きます。
委員	同じことです。
委員長	そういうことになると、設備をもうちょっときちんとすれば安全性は確保できる。

委員	ただ、中友の人は繁華街に近いので慣れていますが、大正は違和感があります。
委員	指定された通学路を変えずなければ安全ですが、ずれると誰でも心配がある。だから、通学路の安全性を確保すれば良いと思います。
委員長	<p>この校区だけの問題ではなく、全ての通学路に関係がありますね。今、大牟田市内では銀水小学校で歩行者専用道路にグリーン塗装をするなど、50箇所くらい補助金で通学路の安全確保対策が行われています。</p> <p>ですから、天道と再編する笹原小学校でも、児童の交通死亡事故があったので、学校再編協議会でも熱心に通学路の安全対策に取り組まれています。再編したらこの学校も通学距離が遠くなり大変です。安全対策が必要です。そういう視点で検討委員会では考えなければならぬだろうし、学校再編協議会も通学路の安全確保について意見を出してほしいというひとつの問題提起として捉えたら良いのではないのでしょうか。</p> <p>毎日朝夕交通整理をしている学校、見守り隊が一生懸命子ども達の安全のため見守りをされているので、案外交通事故が少ないのではないかと頭が下がる思いです。ボランティア、交通設備の問題も含めて、全ての小中学校に関係があるとご理解いただきたいということを含め回答を作っているのではないのでしょうか。</p> <p>次は20ページです。田隈と甘木を残して橋と歴木を廃止するのが自然だと考えると書いてあります。また、防災の面から橋中学校は問題があるということが書いてあります。今まで論議したことを中心として、学校の規模、学校の配置、防災の面も含めて回答文を作っていきます。ここで何かありませんか。</p>
委員	皆さんいろいろな心配を持たれていると思います。学校の再編をするということは、今まで避難所だったところがなくなるといったことが現実問題として地域に降りかかってくるので、皆さんが心配されているのだらうと思います。その部分に関しては、学校ではない形で避難できる場所の計画をするという次の発想をしていかないと、再編のハードルはだんだん高くなっていくだけだらうと感じています。検討委員会では、子どもたちの教育環境がどうなのかということを中心に考えて、それから派生することはその次の新しいステップとしてしかるべきところで議論していただいて、大牟田のまちをより良くしていくという方向性ではないのでしょうか。
委員長	何をするにしても全ての皆さんがOKする案はありません。ただ、今おっしゃったことを各セッションがそれぞれに対応していかなければならないという発想の転換がまちづくりに繋がっていくだらうということでしょうか。
委員	田隈地区の方が田隈中がなくなることについて意見を言われましたが、検討委員会の最初の方で今の田隈中学校に銀水を持つてくるという意見がありましたように、今ある学校がなくなってしまうのではなく既存の施設を活用できるようにしてはどうかと思います。
委員	パブリックコメントの中の24ページの保護者アンケートのところで、「ずるい」、「アンケートを反映されることを知らないまま書かされ」というコメントを見て、とても残念に感じました。小中学校の全保護者を対象

	<p>に小中学校の適正規模・適正配置にむけた新たな再編計画策定に向けた調査をされましたので、アンケートとして保護者は回答しました。その後教育委員会から説明会に来ていただいて中間報告が出たいきさつなど説明していただいていたにも関わらず、保護者の参加がとても少なかったことが私はとても残念です。</p> <p>アンケートについてという文章に関しては、もう少し地域の方や私たち保護者が意識を高くして、参加できることがあれば参加しなければならないのではないかと思います。このような書き方は、私自身とても悔しくて悲しいものでした。そこで、保護者の方にもう少し周知できる方法で、答申後の結果を説明していただければ良いのではないかと思います。</p> <p>また、登下校に関する安全確保については、市街地を通るだけが問題ではなく、暗い中を登下校する子どもたちもいるので、そういった観点からも通学時の安全対策面では十分考慮していただきたいという感想を持っています。</p>
委員	<p>市民の方たちの意見を拝見して、よく気持ちは伝わってきますが、検討委員会としては、適正規模、通学距離による学校の配置の基準があります。きちんと原点に戻って基準に則って決めないと、検討委員会としてもぶれてきます。私は適正規模・適正配置の基準を起点にして、最終的に決めるしかないと思います。田隈中は規模の大きな学校ですので、お気持ちは非常に分かりますが、もし他の中学校に再編になっても、距離の問題や規模の問題でそんなに影響はないように思いますので、検討委員会としてきちんと決めるしかないと思います。</p>
委員	<p>パブリックコメントを見る限りでは、学校は近くが良いという親のエゴを感じます。それを全部鵜呑みにしたら、再編ということ自体がならないのではないかと思います。1番は通学距離があまりにも長すぎたら、子どもたちが学校に行くまでに疲れてしまうし、それを考えると今の配置が1番妥当な線ではないかと捉えました。</p>
委員	<p>1番気になるのは、通学路の距離や安全確保です。説明会に5校くらい参加しましたが、あくまでも中学校の配置はこれで方針としていまいしょうというのは分かりますが、小学校をどちらにするとかいうことは、その地域でしか分からない事情がたくさんありますので、検討委員会でどちらの小学校にするというのには違和感があります。</p> <p>また、説明会では、「知らなかった」とか「すでに決まっているのだろう」など、非常に情報が少ないという声が多かったです。情報を皆さんに分かりやすく知らせる方法を、行政の方も含めて考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>1番心配なのは、学校の跡地を絶対に地元のために使うのだという行政の強いリーダーシップがあれば、ある面市民の方から理解もいただけるのではないかと思います。諏訪小学校の跡地は中学校の給食センターになりますが、上官も跡地の問題が出ています。我々はコミュニティ活動をする場所を確保するとか、避難場所は従来どおり小中学校には自主的に避難できるよう確保すべきということが再編に必要なのではないかと感じました。</p>
委員	<p>説明会やアンケートへの答えはいろいろあると思います。検討委員会は、ある程度適正な規模、適正な配置というところで小中学校の保護者、先生</p>

	<p>のアンケート結果を見て判断して中間報告を出しました。いろんな意見があるのは当たり前なので、修正案を検討しましたが、最初の基準に戻って進めていかないと、この計画案は崩れるようなものではないかと思っていますので、この案は良いと思います。</p>
委員	<p>検討委員会の中で多くの方がおっしゃったように、小中学校の適正規模・適正配置を検討していますが、まちづくりということもあります。現在、中学校を5校区にすることを考えていて、ちょうどパブコメの24ページに、「どの中学校を残しても公平性を期すために、現在ある校名は一切使用せず」というコメントが書いてあります。現在、小学校が再編されたときには校名も新しくして全てがスタートしています。今年で戦後68年になりますが、ある意味平和な時期が長くて、その中でずっと私たちは過ごしているので、大きく変わることにとても不安感があると思います。私の母校の小学校も中学校も、住んでいる所の学校もなくなる予定ですが、新しく適正規模・適正配置を考えるということが検討委員会の使命でした。そういう観点に立つと、いろんな思いがあるけれども、新しくスタートできるように、先程委員長が課題を項目立ててくださった防災やコミュニティなどがこれから1番大切なので、しっかり行政の方に取組んでいただくと新たなスタートができるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>現時点で解決できない問題がたくさんあって、持ち越したまま平成36年度まで再編が進んでいくと思います。それと関係があるかわかりませんが、最近青パトで上内、吉野、倉永を走って、大牟田の中では気持ちの良い所だなあと改めて感じました。平成36年度以降、吉野小学校の地区は北の中核地区として小中一貫の学校を育てていったらいい場所だと感じました。</p>
委員	<p>修正案では、歴木中学の案が消えて、田隈中学の案がかなり先行してしまいましたので心配しました。白川と平原が白光とか、高取が田隈という意見が議事録の中にあり、④案として最終的にまとめられたのが歴木の案です。検討委員会も当初6校案で進んでいたと思いますが、規模の問題、配置の問題で議論して最終的に5校案が出されてここに至ったと思います。パブリックコメントを読んで、駛馬南北などいろいろな問題がありますが、田隈中学校を残して欲しいと言う保護者の意見がかなりたくさんありますので、歴木を残すということであれば、経緯について検討委員会としてしっかりと回答をするべきではないかと思います。</p>
委員	<p>幼稚園、保育園からは今後小中学校に進学することになりますが、全市としてまだ関心が薄いと感じています。これからも教育改革が進んでいくのであろうと思いますが、子どもが中心で教育のことを考えると、適正規模・適正配置を外してはならないと思います。第二次実施計画で右京は再編が計画されていたからどうしようもできないということもあるのですが、適正規模から完全に外れている中学校区があります。地域、大牟田の発展と子どもたちの教育を考えると、人数的に100人多い、少ないによって教育環境は随分違ってくるのではないのでしょうか。小さい規模、大きい規模のメリット、デメリットがあるかもしれませんが、これからの話し合いでは密接に考えなければ、教育にしてもバランスが崩れてくるのではないかと思います。子どもたちの教育環境を考えると、先程出た小中一貫校なども全市として取り組まなければならないことではないかと思いま</p>

	<p>す。生徒数が少ない中学校校区から違う中学校に通学することでさらに生徒数が少なくなって、今の段階で校長先生が困っておられるという話を少し聞きましたので、どう解消していくのか。それは検討委員会の検討事項ではないにしても、人口が少なくなってきている地域の小学校を統廃合すると、市の人口動態からしても将来なおのこと少なくなっていくところへの配慮が必要ではないかと思います。</p>
委員	<p>17ページの(6)に「通学距離が公表されているが、南小になった場合の通学距離」とありますが、もし分かれば教えてください。</p>
事務局	<p>第7回検討委員会の資料にあります。駿馬南までは駿馬南校区の野添町から1.8km、駿馬北校区の青葉町から2.2kmが1番遠い距離です。</p>
委員	<p>あまり通学距離は関係ないですね。</p> <p>それから、基本的には適正規模・適正配置の検討委員会ですので、まちづくりの観点などからも様々な意見が出されているようですが、20ページの「5校案に合致している」と書いてある中での「田隈と甘木を残して橘歴木を廃止した方が自然だと考える」ということの根拠が何なのか分かりません。それから上内など遠いところはタクシーとかスクールバスとか書いてありますが、この中で1箇所間違っているところがあります。四ヶ地区で1番遠い所は中原ではなくて湯谷で、中原からかなりの距離があります。また「その地区の生徒児童数は数名程度だろうから」とも書いてありますが、これは金の問題で議論すべきではないと思っています。この方のご意見は、全体的なまちづくりを念頭に意見を出されているようです。次の21ページには「20～30億円を投入して」と書いてありますが、いろんなことが想定されてパブコメとして出されているので、検討委員会の中では、当初委員長がおっしゃられたように、適正規模・適正配置を基本に議論していった方が良いのではないかと思います。</p> <p>いろんな問題は通学区域審議会などで議論があろうかと思いますが、この検討委員会では、予算等は別にして、適正規模・適正配置とした方が良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>適正規模・適正配置はあくまでも子どもたちの教育条件がどうかという観点だと思います。総論賛成だがしかし…というところがかかなり多いと思いますので、保護者や地域の皆さんの不安を払拭するような、子どもたちが統廃合して良かったというような教育環境の整備をしっかりしてやらなければいけないのではないかと思います。</p>
委員	<p>市全体を見て、適正規模・適正配置を検討していますが、やはり保護者や子どもたちの様々な不安というのは、それぞれに応じた対策を丁寧に説明する必要があるかと思っています。検討委員会で再編案を出した後に、再度通学区域審議会で審議をしていくということが丁寧に行われないと、通学方法にしても子どもたち、保護者が納得して全員がこれで良かったとはならないでしょうが、折り合いを付けていながら再編を進めていくことが、再編のスケジュールを含めてこれから先が大変ではないかと思っています。それぞれ課題への対応策が必要ではないかと思っています。</p>
委員	<p>検討委員会では、いろいろ問題があるのは確かですが、とても丁寧にいろんな観点からどうすべきか、どうあるべきかということ子どもたち</p>

	<p>のために審議されていて、私は嬉しく思っています。</p> <p>それから、〇〇委員がおっしゃったように、もう1回原点に戻ってみて、何のための適正規模・適正配置の検討委員会なのか、主旨にもう1回戻ろうとおっしゃったことに大きく頷きました。子どもたちの成長のための検討委員会だったし、その結果として大きくまちづくりということも出てくるだろうと思っています。</p> <p>また、保護者が1番心配なのは、子どもの命、安全面です。街中を通学するとか、交通事故に遭わないだろうかとかということをもっと丁寧にクリアしていけば、市民が支えてくれる学校づくりができるのではないかと思います。</p>
委員	<p>子どもの学校の中での安心・安全、学校から家までの安全を1番基本に据えて皆さん検討されていますので、いろんな保護者からの意見があるように、検討委員会にも保護者がいらっしや、幼稚園や小中学校、地域の関係者もいらっしやる中でのご意見を、1市民の1人として吸い上げていきながら検討しているので、1番に子どもの安全、いじめに関する学校での教育・守り、跡地の活用などを市民の方にも適宜できるだけ分かりやすく説明しながら、最終的に全ての方が理解することはできなくても、検討委員会としての使命や、行政の方にご尽力していただくことで、将来の大牟田がどの年代の方も住みよく安心して生活できるようになる気持ちを持たなければならないと思いました。</p>
副委員長	<p>昨年6月から検討委員会が始まり、学校も実際に視察しました。検討委員会の中で、皆さん真剣に、熱心に子どもの安全・安心を第1に考えて、1番に子どものことを念頭に置いた検討委員会だったと思います。それで出た結果が適正規模・適正配置ということが根底にあり、中間報告が出たと思います。</p> <p>今からいろんなことが発生するだろうと思います。今まで11校あった中学校を5校にして、遠くから通学する子どもたちのことも保護者はご心配だろうと思います。それを地域で支えたり、学校全体で話し合いながら、良い計画を立てて、20年後ぐらいには子ども達がにこやかに通学している姿を思い浮かべながらこの検討委員会に携わってきました。</p> <p>市民の中にはいろんなご不満のある方もいらっしやると思いますが、いずれ、開校に当たって「良かった」と言ってもらえるように、市の方たち、各協議会の方たちが努力していただけたらと思います。</p>

(4) 議事のまとめ

発言者	発言内容
委員長	<p>次回の会議で最終答申とパブリックコメントへの回答を協議します。今まで会議を重ねてきた中で、結論が正しくてもそのプロセスが正しくなかったら、その結論は正しくないという、「手続きの定義」という言葉があります。検討委員会の委員20名は、保護者や住民などいろんな方々の意見を聴きながら、できるだけ住民とともに考えて悩みを共有して合意を作っていくという立場で基本を据えて論議をして、次回の会議で最終答申を協議するまでになったと思います。それで良いかということ、私はそうではないと思います。やはり、今からがまた大変だと思います。地域にはいろんな抱えている問題、特色、伝統、生活、文化があって、どこの再編も簡単</p>

	<p>にできる場所はないと私は思っています。しかし、それをそのままにしておくと、子どもたちは大変な時代に学校生活を送らなければならないから、検討委員会の責任の下に協議を重ねてきました。そういうことを肝に銘じながら、次回の会議で最終的に責任を持って最終答申とパブリックコメントの回答を検討してみたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>ある町では、13年前に学校を再編して5校が一緒になりましたが、再度再編をしなければならなくなり、旧町の小学校が1校になります。検討委員会でも、20年、30年後のことを考えながら協議してきたと思います。</p> <p>他に何かございませんか。</p>
全委員	意見なし。

(5) その他

発言者	発言内容
委員長	事務局から次回の日程をお願いします。
事務局	今回は3月27日(水)の午後3時から、場所は企業局3階講習室で予定させていただきます。後日、開催通知、資料を送付させていただきます。
全委員	了承。

3 閉会